

【学校だより】

ほさかっど

<http://www.hosaka.comlink.ne.jp/>



【学校教育目標】

心豊かで
かしこく
たくましい子ども

令和元年7月22日 NO. 4 穂坂小学校長

本格的な夏の到来が待ち遠しい中、1学期末を迎えました。71日間、様々な行事があり、子どもたちは、教室の中の学習だけでなく、学校の外でも多くのことを学び、成長することができました。詳しくは、本校ホームページやブログで、子どもたちが活躍する様子をご覧ください。また、お渡しした「あゆみ」で、お子さんと1学期を振り返り、「褒める」「励ます」材料にさせていただけると幸いです。

今、世界では、いろいろなことが起きていて、気づかないうちに私たちの生活もグローバル化の波を受けています。世界のことに興味を持たなくてはいけないのですが、まずは、地域のみなさんと、特に、ご近所のみなさんと上手にお付き合いしていくことが必要でしょう。そのためには、まず、お互いを理解し合うことが大事だと思います。学校では、子どもたちは1・2年生の生活科や3年生以上の社会科や総合的な学習の時間の学習で、地域から、いろいろなことを学びます。1・2年生は、自分と身近な人々や社会及び自然との関わりに関心をもつことから始まります。学習の範囲は、学校を中心とした学区内です。3年生は穂坂地区から葦崎市、4年生は山梨県、5年生は日本国、そして、6年生になると世界に目を向けて、人々や社会、そして、自然と自分との関わりについて学んでいきます。

さて、私たち大人も学ぶ姿勢を忘れてはいけません。「SDGs」という言葉を聞いたことがありますか？

SDGsとは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、「エス・ディー・ジーズ」と読みます。SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が、2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。SDGsは発展途上国だけでなく、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものです。

私たち一人ひとりにも、できることは数多くあります。2030年(10年後)の世界を変え、その先の未来に引き継いでいくためには、SDGsを特別なものとしてではなく、「自分ごと」として捉え、それぞれの活動、生活の中に浸透させていくことが大切です。手始めに、お子さんがご家庭で過ごす時間の多いこの夏休み中に、食べ物のこと、ゴミのこと、環境のことなどについて考え、普段の生活をちょっと見直してみませんか？その中に、お子さんの夏休みの自由研究のヒントが見つかるかも知れません。

最後になりましたが、1学期間の保護者、地域の皆様のご協力に感謝申し上げますとともに、子どもたちが笑顔で2学期を迎えられますよう、夏休み中のご指導をよろしくお願い申し上げます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

